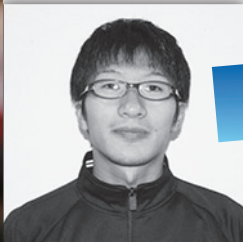




工学部学生が 箱根駅伝優勝に貢献



環境建設学科4年
世古 浩基

区間4位 4区

4区を走った環境建設学科4年の世古浩基です。4年生として初めて箱根駅伝を走ったわけですが、4年生にありがち、就活や卒業研究を進めながらの陸上の練習はとて大変でした。その中で箱根を走れたのは自分だけの力ではなく、研究室の教授、同じ研究室の仲間たちにも応援を受けながら頑張りました。そのほかにも応援していただいた方々、どうもありがとうございました。初めての箱根駅伝でしたが、みなさんの応援によって元気をいただき気持ちよく走ることができました。今後、競技として陸上を続けませんが、最後の年に走れて優勝できたことはすごく嬉しいですし、今後に活かせると思います。今回で東洋大学陸上部の強さをさらにみせつけることができたと思います。後輩にはぜひ3連覇4連覇と東洋の時代を築いてほしいと思います。



機械工学科4年
山口 裕岐

こんにちは。工学部、機械工学科の山口裕岐です。現在4学年ということで、今年の3月に卒業を迎えるわけですが思い起こせば大学生生活、とても充実した日々を送れたと思っています。特に、部活動では高校1年から続けている陸上競技を、まさに生活の一部として本格的に取り組むことができました。また、昨年と今年に限っては箱根駅伝で優勝し、貴重な経験をすることができたのと同時に、自分を支えてくださる多くの方々に感謝の気持ちを伝えることができたのではないかと思っています。一方、勉強面では、高校時代に習った内容を活かし、機械工学に関する様々な専門的知識を学習することができました。私自身、高校時代から部活動に取り組む上で勉強を疎かにはしたくないという思いがあり、常に効率的な生活リズムを心掛けていますが、もちろん全てが思い通りにいくわけではありません。私が充実した大学生活を送れたのは周りの方々の理解があったからこそだと考えています。

H21年度卒業生特別功労賞

『3D』



株式会社 コマツ 顧問
星野 光多

1967年工学部機械工学科を卒業し、建設機械メーカーのコマツに就職した。現役を昨年春に退いたが、それまでの間26年余りを米国、中近東、ドイツ、中国に駐在し、特に後半の十数年は現地法人の経営者として過ごした。

日本を離れて異言語・異文化圏の中に生活の拠点を移し、そこで仕事をするのは、傍からは格好良く見られがちだが、実際にはそんなに容易なことではなく、現地社会に適合できないストレスから精神的、身体的健康を維持できなくなる例は少なくない。幸い、私は当初こそ言葉や習慣で苦労することがあったが、何処に於いても適応は比較的早かったし、そこで働く多くの人たちとも気持ちの良いお付き合いをさせて頂いた。

それができたのは、自分の思考のプロセスの基本に3Dがあったからかもしれない。それは、①Desire(強く望む)、②Decision(決める)、③Dedication(専念する)の3つのDである。これは今でも米国PGAでプレーするトム・ワトソン氏の若いころの言葉であったと思う。彼は、ゴルフをする場合、そのホールをどう攻めるのか、自分のDesireを確認しそれに従ってDecisionし、Dedicationするそうだ。自分の意思を大事にし、時には、リスクがあってもあえて果敢に攻めるという。

実社会では、組織と仲間の同意と協力が必要で、個人プレーに徹することは難しいが、何をやるにしても、それが本当に自分の望むものかどうかを、常に考えて行動することが、人生にとってとても重要なことのように思える。

2010年2月17日 株式会社 コマツ 顧問 星野 光多



狭山金型製作所
大場 治

私は、1984年東洋大学工学部機械工学科を卒業し、現在入間市の狭山金型製作所の代表取締役として働いております。この度、連合育成会より「卒業生の活躍」への投稿依頼を受けました。

最近、テレビや新聞に報道された「チーム入間」は、私が中心となって入間市周辺の中小企業5社で編成したソリューション提案型協業受注集団です。発注者から渡された図面通りに製品を作っているだけでは生き残れないと考え、いろいろな分野で高い技術力を持った企業が結集して、新たなものづくりのニーズ掘り起こしに挑んでいます。

狭山金型製作所は1964年私の父が各種の金型の製造を目的として創業した会社です。

卒業後しばらく金型関係のメーカーに勤め、外から会社を見る経験をして、25歳の時に会社に戻り代表取締役となって、経営者として一から経験を積みました。わが社は埼玉県入間市の狭山丘陵のトトロの舞台となった自然豊かな場所にあり、従業員と快適な環境で仕事が出来、モチベーションが上がるようないろいろな工夫をしています。現場で働いている従業員は、当然機械出身者もいれば、農学、法学、経済学などいろいろな分野の人が、明るく、楽しく、前向きにをモットーに働いています。

日本のものづくりの伝統を絶やさないで、新たな分野に挑戦をしている毎日です。川越キャンパス連合育成会会員の皆様も、楽しく働いて有意義な人生を送ってください。

